

保田遊水地運用開始記念式典を開催しました

- 日 時: 令和7年5月25日(日) 14:00~15:00
- 会 場: 保田遊水地 奈良県磯城郡川西町大字保田三七七の一
- 主 催: 国土交通省 近畿地方整備局、奈良県、川西町
- 出席者: <招待> 高市衆議院議員、堀井参議院議員、地元関係者、自治体関係者、
施工業者ほか
<主催> 長谷川近畿地方整備局長、山下奈良県知事、小澤川西町長ほか
- 次 第: オープニングイベント(和太鼓演奏)、開式、式辞、主催者挨拶、来賓紹介、
祝電披露、事業経過報告、期待のメッセージ、万歳三唱、閉式、テープカット

■ 保田遊水地の概要

大和川中流域では、5つの遊水地整備等を実施。これらが完成すると、昭和57年8月洪水と同規模の洪水に対して床上浸水が生じなくなる見込み。

保田遊水地は5つある遊水地の中で最初に運用を開始し、約23万m³の水を貯留可能。

平常時は川西町にて上面をスケート等が楽しめる施設として活用。



面積: 約7ha
遊水地容量: 約23万m³
周囲堤: 約740m
囲繞堤: 約300m
越流堤: 約37m
越流堤敷高: TP+41.0m



長谷川近畿地方整備局長



山下奈良県知事



小澤川西町長



高市衆議院議員



堀井参議院議員

関係者の皆様に感謝。
大和川流域では保田遊水地が初めての遊水地となり、浸水被害軽減が期待される。引き続き大和川流域の治水安全度の向上に取り組む。

保田遊水地は外水、内水両方に対応する施設であり大和川の氾濫による浸水被害抑制に加え、内水被害軽減にも繋がる。今後もハード・ソフト一体となって防災に対する取組を進める。

奈良盆地は水に悩まされながら生きてきた。保田遊水地の完成により地元の内水被害が低減することに期待している。今後オーバルトラックを活用することで地域の振興に繋げていく。

すばらしい施設が完成した。日本唯一のオーバルトラックで練習したいと思ってくれたら嬉しい。保田遊水地の完成により住民の皆様が安心して生活できるように願っている。

保田遊水地は複合的で工夫された施設であり、大きな安心に繋がる施設が完成した。昭和57年の災害を経験したが、今後はより一層安心・安全な奈良県になっていくと期待。



和太鼓演奏(川西和太鼓一家)



テープカット

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
大和川河川事務所 流域治水課
〒582-0009
大阪府柏原市大正2-10-8
TEL 072-971-1381

